



みやぎ総合家畜市場(美里町)

「茂重波」号像(大崎市岩出山)

## 仙台牛のふるさと

大崎地域では、畜産、特に肉用牛生産が盛んに行われており、ブランド牛肉「仙台牛」の代表的な産地の一つです。

### ○仙台牛とは

「黒毛和種であること」、「宮城県内で肥育された肉牛」や「(社)日本食肉格付協会枝肉取引規格でA5またはB5に評価されたもの」などいくつか条件が定められています。霜降りと赤身のバランス、きめの細かさなど厳しい基準をクリアし、最高ランクに格付けされた牛肉だけが「仙台牛」の称号を得ることができます。

### ○仙台牛の歴史

「仙台牛」の歴史は、大崎市岩出山にある宮城県畜産試験場が、昭和6年に肉質の向上を図るために兵庫県から種牛を導入し、牛の改良を手がけたことから始まります。昭和49年兵庫県から導入した、「茂重波（しげしげなみ）」号という大変優れた種牛によって、最高級品質の牛肉を作りだすことに成功し、現在の「仙台牛」の基礎が築かれました。

### ○仙台牛を育む大崎耕土の自然と稲作

大崎耕土は、全国有数の米どころです。仙台牛は、その清らかな水で育ったササニシキやひとめぼれなどの稲わらを贅沢に食べて育ちます。ふるさとの豊かな自然の恵みをからだいっばいに吸収することで「仙台牛」の美味しさは作られています。

(参考資料：仙台牛銘柄推進協議会、宮城県)